

「経済波及効果とRESASを知ろう」ワークショップを開催しました

平成29年7月26日、高松テルサにて開催された香川県中小企業家同友会広報クリエイティブ会例会で、当研究所は「香川県へのインバウンド増加がもたらす経済波及効果とインバウンドの状況」をテーマに講義とワークショップを行いました。



挨拶する西川所長



広報クリエイティブ会 吉馴部会長



講義をする後藤主任研究員

講義を踏まえたワークショップでは、参加者約20名が栗林公園に訪日外国人を呼び込むための方策を討議し、発表しました。新しいアイデアやユニークな意見も出て活発な討議となりました。

講義では、RESASの概要に加え、人口減少による消費の消失を補うためには外国人観光客の呼び込みが最も効率的であることや、域内自給率を高めることの必要性を話しました。



最後に、香川県中小企業同友会の川北代表理事が、「素晴らしい地域資源を再認識することができた。こうした考え方や視点は、会社経営においても有効である」と総括しました。